

事務事業評価表

平成14年度	主要事業計画対象の有無	有	電話	042(769)8370
担当部課名	保健福祉部	保健福祉総務	課	
事務事業名	防災資機材整備費		事業コード	23120

1 総合計画における位置づけ

政策名	第3章	安全に暮らせる都市の実現をめざします	事業開始年度
基本施策名	第1節	災害に強いまちづくり	13年度
施策名	第2施策	防災対策の強化	

2 実施根拠及び関連法令等

相模原市地域防災計画、災害弱者支援対策指針

3 事業概要

(1) 事業の目的 地域防災計画に新たに位置付けられた災害弱者計画により、避難所で生活する災害弱者のための生活物資3日分を計画的に備蓄する。		(2) 対象(誰、何) 発災時における避難所で生活する災害弱者	
		対象数	約8000人
(3) 平成13年度事業の内容 防災資機材を購入し、一般倉庫への備蓄を行った。 ・車椅子(普通型) 10台 ・車椅子(リクライニング型) 2台 ・担架 10台 平成13年度決算額 937,500円		(4) 総合計画・実施計画における概要 災害弱者対策の充実	
		(5) 個別計画の概要	
		計画名	災害弱者用物資備蓄計画
		計画年次	13年度～23年度
		災害弱者用物資(食料品、食器、排泄用品、寝具、移動器具等)を計画的に備蓄、更新する。	

4 評価指標

指標名	対象資機材の備蓄率		
指標式	対象資機材の購入数 / 備蓄計画上の総数		
指標設定の意図	資機材の備蓄率を出すことで、備蓄状況が把握できる。		

5 目標と実績

[金額単位：千円]

	平成11年度	平成12年度	平成13年度(評価対象年度)		平成14年度	
	実績	実績	実績	目標	目標	
指標			a 22	b 22	72	
指標			c	d		
指標			e	f		
事業費	決算(予算)額		938	1,668	1,962	
	人員・時間数		1.5人	1.5人	1.5人	
	人件費		32	32	32	
	その他経費					
	合計	0	0	970	1,700	1,994
特定財源						

6 個別評価

(1) 達成度…目標をどれだけ達成したか			
評価 A ▼	A : 達成している (100%)	= 、 、 の平均値 = 100.0%	
	B : 一部達成していない(100%> 80%)		
	C : 達成していない (80%>)		
$\frac{a}{b} \times 100 = 100.0\%$	$\frac{c}{d} \times 100 =$	$\frac{e}{f} \times 100 =$	
理由 :	13年度当初の計画どおり、防災資機材について購入、備蓄を行うことができた。また、予算執行にあたっては、入札により当初の見積よりも大幅に経費を削減することができた。		

(2) 必要性…時代変化に適応した事業内容か			
評価 A ▼	A : 適応している	理由 :	平常時からの防災対策は重要な課題であり、災害弱者に対する物資備蓄も計画的に行うことが必要である。
	B : 一部適応していない		
	C : 適応していない		

(3) 経済性・効率性…費用対効果は妥当か			
評価 A ▼	A : 妥当である	理由 :	発災時のための備蓄であるため、費用対効果の即効性はないが、発災時の効果は有効であると考ええる。
	B : 一部妥当でない		
	C : 妥当でない		

(4) 事業の代替性…県、民間との役割分担のあり方から見て、市が実施していくことが適当か			
評価 B ▼	A : 代替の可能性ない	理由 :	市における災害弱者用資機材の備蓄については、市が計画的に行うことが基本であるが、市で賄えない物資については、民間業者等との協力関係の中で在庫物資を供給してもらう方法を考える。
	B : 代替の可能性低い		
	C : 代替の可能性高い		

(5) 市民満足度…対象市民の満足は得られているか			
評価 A ▼	A : 満足できる	理由 :	現在の財政状況から、単年度で一括の備蓄は困難であるが、段階的に備蓄が図られている。
	B : 一部満足できない		
	C : 満足できない		

(6) 有効性…当該事業は上位の施策を実現する上で有効か			
評価 A ▼	A : 有効である	理由 :	発災時の災害弱者を支援するという点で、平常時からの物資備蓄は必要であり、上位施策を実現するにあたり有効であると考ええる。
	B : 一部有効である		
	C : 有効でない		

<p>評価バランスチャート</p>	<p>成果向上の余地</p> <input checked="" type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない		<p>説明 :</p> 備蓄状況が進むことで、災害弱者対策が図られる。
	<p>コスト改善余地</p> <input checked="" type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない		<p>説明 :</p> できる限り一括購入を検討し、入札等によって、経費の削減を図る。

7 総合評価

評価	AA ▼	他自治体の類似事業との比較	
今後の進め方			
<input checked="" type="checkbox"/>	継続	説明	平成13年度より、避難所へ計画的に備蓄を図っているところであるが、今後とも予算の範囲内で段階的に備蓄を図っていく。
<input type="checkbox"/>	見直し		
<input type="checkbox"/>	廃止		
<input type="checkbox"/>	完了		

8 二次評価における変更点

--